

Contents

1. お知らせ（東インカレ・夏合宿・早慶戦日程）
2. 全日本学生個人戦 男女合わせて5階級で優勝！
3. 新入部員紹介
4. 4年生との対話会を開催
5. 全日本選手権結果
6. 世界ジュニア選手権出場
7. 熱海でミニOB会を開催
8. リレー寄稿 あの先輩はいま
9. 台湾師範大学と交流
10. 御年77歳マスターズデビュー
11. 平成28年度総会報告
12. 寄付者ご芳名
13. 予餞会模様



<新入部員の8人>

お知らせ（東インカレ・夏合宿・早慶戦日程）

◆第45回東日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会

日程： 7月8日（土）～9日（日）

場所： 埼玉県 スポーツ総合センター

埼玉県上尾市東町3-1679（JR高崎線上尾駅東口からタクシー10分）

選手： 56kg級（7/8 09:30）知念勇斗 62kg級（7/8 10:50）千葉健介・木村勇喜
69kg級（7/8 13:00）知念勇樹 85kg級（7/8 15:50）永迫竜矢・田中裕也
94kg級（7/9 09:30）神田悠斗 105kg級（7/9 11:45）池田祐介

男子は今年前半の集大成となる試合です。首都圏在住の皆さまには、ぜひご来場ご観戦くださいますようお願い申し上げます。

◆夏合宿

日程： 8月30日（水）～9月5日（火）

場所： 清水ナショナルトレーニングセンター

静岡県静岡市清水区山切1487-1（JR東海道線清水駅からタクシー12分）

皆さまのご参加をお待ちしております。

なお、ご参加いただける場合はお早めに宿泊日と食事（朝・昼・夕）の可否についてご連絡ください。

連絡先： ウエイトリフティング部 主務・千葉健介 電話03-3202-1090

◆第61回早慶ウエイトリフティング定期戦

日程： 9月30日（土）

場所： 早稲田大学 17号館B2階 ウエイトリフティング場

詳細は追ってご案内します。試合後の両校懇親会と合わせて皆さまのご参加をお待ちしております。

Topics!

全日本学生個人戦 男女合わせて5階級で優勝！

4月28日～30日、大阪府で開催された全日本学生個人戦において、男子は77kg級で生頼永人選手がC&Jジャーク177kgの大学新記録を樹立して優勝。女子は53kg級で安嶋千晶選手、58kg級で内門沙綾選手、69kg級で戸田妃乃子選手、75kg級で柏木麻希選手が優勝し4階級を制しました。

男子62kg級の木村勇喜選手、62kg級の知念勇樹選手、女子48kg級の新川百音選手もメダルを獲得するなど活躍し、早稲田として同選手権大会で歴代最高の成果を収めました。



写真上左：生頼選手 C&J177kg (大学新)
写真上中：内門選手 C&J105kg (大会タイ)
写真上右：柏木選手 C&J108kg (大会タイ)

写真下左：安嶋選手 S71kg
写真下右：戸田選手 C&J110kg

第63回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会

第29回全日本女子学生ウエイトリフティング個人選手権大会

日時：4月28日～4月30日

場所：羽曳野市 はびきのコロセアム

階級	選手名	学部 学年	体重	BEST				TOTAL	
				S	順位	J	順位	記録	順位
62kg	森川芳樹	ス4	61.60	100	10	135	3	235	5
	木村勇喜	ス1	61.40	111	1	134	4	245	2
69kg級	知念勇樹	ス1	68.46	116	2	151	3	267	3
77kg級	生頼永人	ス4	71.02	132	1	177 大学新	1	309	1
85kg級	永迫竜矢	ス3	81.86	120	14	152	10	272	11
94kg級	神田悠斗	社3	90.45	115	13	145	10	260	11
105kg級	池田祐介	社3	103.58	130	6	156	4	286	4
W48kg級	新川百音	ス2	47.74	67	2	82	3	149	3
	鈴木梨羅	ス1	46.62	63	4	80	4	143	4
W53kg級	安嶋千晶	ス3	52.14	71	1	92	1	163	1
W58kg級	内門沙綾	ス4	57.54	74	3	105	1	179	1
W69kg級	戸田妃乃子	ス1	67.90	80	2	110	1	190	1
W75kg級	柏木麻希	ス3	72.10	88	1	108	1	196	1
W90kg級	田中季恵	ス3	82.85	83	5	103	5	186	5

新入部員紹介 1/3

今年度は選手7名とトレーナー1名の計8名の新入部員を迎えました。将来の活躍が期待される新人たちに以下の質問を投げかけてみました。プロフィールと合わせてご覧ください。

- ①なぜ早稲田でウエイトリフティングをやろうと思った？
- ②試合で注目してほしいところは？
- ③早稲田に来て驚いたことは？
- ④今後の目標は？



木村 勇喜
(きむら ゆうき)

学部：スポーツ科学部

出身高校：兵庫県立明石南高等学校

階級：62kg級 ベスト：S:115kg/C&J:138kg

- ①高校2年生の頃に初めて勧誘していただいた大学で同じ高校、地域の強い先輩が多くいたからです。
- ②スナッチ
- ③授業後に小レポートを書く授業があり、僕が一生懸命考えているなか、周りの学生たちはすぐに書き終わり、書いている量も自分の倍くらいあり、周りの学生がほとんどそうなのでやはり早大生は凄いなあと思ったことです。
- ④今年の6月にある世界ジュニアを6本成功で気持ちよく終え、12月にある全日本インカレで優勝、インカレでは4連覇を目標に、記録ではスナッチでのジュニア記録更新を目標に頑張ります。



知念 勇樹
(ちねん ゆうき)

学部：スポーツ科学部

出身高校：関西大学第一高等学校

階級：69kg級 ベスト：S:119kg/C&J:155kg

- ①勉強で日本のトップを走る早稲田大学に素晴らしい練習環境があり、文武両道を図れる大学生活を送れると思ったからです。
- ②ジャークが得意なので、ジャークで順位を逆転するところを注目して欲しいです。
- ③様々な競技で日本代表として世界レベルで活躍している学生がたくさんいたこと。
- ④早稲田大学の選手という誇りを胸に練習を重ね、記録を伸ばして試合で結果を残します。個人と団体にインカレ優勝することと、世界大会の代表に選ばれ結果を出すことが目標です。



橋本 拓実
(はしもと たくみ)

学部：社会科学部

出身高校：早稲田大学系属早稲田実業学校

階級：85kg級

- ①重い重量を持ち上げるウエイトリフティングという競技に興味があったから。
- ③身近なところに凄い選手がいるので、良い環境で練習することができる。
- ④綺麗なフォームを身につけ、重い重量を扱えるだけの身体作りをする。

※橋本選手は、高校時代はラグビー部に所属していました。未経験者が選手として入部するのは3年ぶりです。

新入部員紹介 2/3



鈴木 梨羅
(すずき りら)

学部：スポーツ科学部

出身高校：千葉県立松戸国際高等学校

階級：48kg級 ベスト：S:71kg/C&J:92kg

- ①先輩にあこがれて。高いレベルで学んだことを競技に活かせると思ったから。
- ②試合を重ねるごとに記録を伸ばしていけるように頑張ります。成功率を高めたい。
- ③学生トレーナーがいること。
- ④何より怪我をせず、着実に力を伸ばしていける選手になります。インカレでは団体優勝に貢献できるよう、しっかり成績を残していきます。



戸田 妃乃子
(とだ ひなこ)

学部：スポーツ科学部

出身校：九州国際大学附属高等学校

階級：69kg級 ベスト：S:86kg/C&J:111kg

- ①高校生の時から憧れで目標としている柏木麻希さん（3年）を追いかけて来ました。そして、練習中など部活の雰囲気が好きだったからです。
- ②私は本当によくプレスアウトで失敗をします。だから、誰がどう見ても白3つつくような試技をできるようにします。私の成長に注目してください。
- ③Wi-Fiがどのキャンパスでもガンガン使えることにビックリしました。
- ④インカレで個人・団体ともに4連覇！！無駄のない綺麗なフォームを手に入れること。



本澤 瑞紀
(ほんざわ みずき)

学部：社会科学部

出身高校：兵庫県立明石南高等学校

階級：58kg級 ベスト：S:67kg/C&J:87kg

- ①同じ明石南高等学校出身の先輩方が多く、学生主体で考えて練習ができるというところに魅力を感じたからです。また、チームの雰囲気も良くOB・OGの方たちとも繋がりが強いと感じたからです。
- ②勝負強さです。
- ③先輩方や同期（私を含め）が個性的過ぎるところです。
- ④まずは体をしっかり作ることです。そしてインカレ優勝に貢献できるよう記録を伸ばすとともに、フォームも改善したいと考えています。また、学業と競技を両立し、充実した学生生活にしたいです。

新入部員紹介 3/3



前田 早菜
(まえだ はやな)

学部：社会科学部

出身校：愛媛県立新居浜南高等学校

階級：75kg級 ベスト：S:72kg/C&J:94kg

- ① 高校生のころ合宿に参加させていただいたとき、部の雰囲気がとても明るく楽しかったので、私もここでウエイトをしたい！と思いました。
- ② 楽しんでいるところ！緊張もしますがアップのときから楽しむことを心がけて気楽にバーベルと向き合うようにしています！自然と成功率も高くなりました。大学でも誰よりも楽しんで試合をします！
- ③ 都会はいっぱい電車がくるのですごいです…入学式のときの活気が想像以上で驚きました。
- ④ 団体が日本一になることです！そのためにチームの一員として練習に励みます。また、いつも応援してくれる家族や地元愛媛の方々にも結果で恩返しできるように頑張ります！



若宮 知輝
(わかみや かずき)

学部：スポーツ科学部

出身校：愛知県立豊橋東高等学校

- ① トレーナーをやらせていただくにあたって、自分が得たいと思っている知識や経験を最も得られる部活であったため。
- ③ 設備が充実していること。
- ④ トレーナーとしてチーム内の怪我を減らすこと。

4年生との対話会を開催

4月8日、下落合・かがやきにて4年生との対話会を開催しました。学生は森川主将はじめ4名、OBは鵜飼部長・志田会長はじめ5名が参加し、部の運営や支援のあり方などについて意見交換を行いました。

早稲田ウエイトリフティングの価値伝承の一環として毎年続けているこの会ですが、今後は3年生以下の皆さんとも各学年ごとに機会を設け、傾聴・フォローの機会を増やしていきたいと思えます。



全日本選手権結果 1/2

5月26日～28日、栃木県小山市で全日本選手権大会が開催され、早稲田として過去最多の20名（現役部員12名+OB・OG 8名）が出場しました。

男女それぞれで負傷による失格もありましたが、男子は56kg級で知念勇斗選手が3位入賞を果たしたほか、大塚一樹選手(H24卒)が69kg級で4位、安達貴弘選手(H25卒)も77kg級で4位に入るなど健闘しました。

女子は69kg級で吉野千枝里選手(H25卒)が優勝し二連覇を達成。鈴木梨羅選手が48kg級で2位、見附絵莉選手(H27卒)が63kg級で2位、戸田妃乃子選手が69kg級で2位、柏木麻希選手が75kg級で2位となり5人がメダルを獲得したほか、安嶋千晶選手が53kg級で4位、田中季恵選手も90kg級で4位と健闘しました。



写真左：知念勇斗選手
写真右：鈴木梨羅選手

第77回全日本ウエイトリフティング選手権大会
第31回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会
日時：5月26日～5月28日

場所：小山市 栃木県南体育館

階級	選手名	学部 学年	体重	BEST				TOTAL	
				S	順位	J	順位	記録	順位
56kg級	知念勇斗	ス3	55.34	95	4	125	4	220	3
62kg級	木村勇喜	ス1	61.84	113	4	135	6	248	6
69kg級	生頼永人	ス4	68.84	130	4	0	-	0	-
69kg級	知念勇樹	ス1	68.80	118	7	150	7	268	7
W48kg級	新川百音	ス2	47.58	65	5	82	5	147	5
	鈴木梨羅	ス1	46.52	69	3	89	3	158	2
W53kg級	安嶋千晶	ス3	52.22	71	4	94	3	165	4
W58kg級	内門沙綾	ス4	57.62	75	7	100	4	175	5
W69kg級	戸田妃乃子	ス1	67.74	83	3	111	2	194	2
W75kg級	柏木麻希	ス3	72.08	92	2	112	2	204	2
	前田早菜	社1	69.68	71	8	89	9	160	8
W90kg級	田中季恵	ス3	83.78	84	4	105	4	189	4

(OB・OGの成績は次ページ)

全日本選手権結果 2/2

第77回全日本ウエイトリフティング選手権大会
 第31回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会
 日時:5月26日～5月28日

場所:小山市 栃木県南体育館

階級	選手名	学年	体重	BEST				TOTAL	
				S	順位	J		記録	順位
69kg級	大塚一樹	香川中央高校教員 H.24卒	68.42	123	5	153	4	276	4
77kg級	安達貴弘	若狭東高校教員 H.25卒	76.88	133	4	162	3	295	4
	梶田大和	RIZAP H.28卒	76.88	125	6	150	7	275	7
105kg級	菅野真央	トレミール H.28卒	102.24	140	7	170	7	310	8
W63kg級	松本潮霞	ALSOK H.26卒	62.38	95	1	0	-	0	-
	見附絵莉	大阪府警 H.27卒	62.48	91	2	111	2	202	2
W69kg級	吉野千枝里	警視庁 H.25卒	68.64	87	2	114	1	201	1
	野本なつみ	埼玉県WL協会 H.29卒	64.54	68	10	87	10	155	10

全日本選手権を観戦された谷川吉史先輩から感想をお寄せいただきましたのでご紹介します。

「1本目の大切さ」 (2017全日本選手権観戦記)

5月26日～27日の2日間、全日本選手権大会を観戦して 何の実績もない私が言うのもおこがましいのですが、スタート重量の選択についてその大切さをつくづくと感じさせられました。

生頼永人選手(4年・M69kg級)のC&J 170kg、松本潮霞選手(OG・63kg級)の113kgがいずれも3本とも失敗に終わったのと対照的にM85kg級で3つの日本新記録を出した山本俊樹選手(ALSOK)を比較してみると、戦い方に大きな違いがありました。もちろんそれは順位を争う相手選手との記録の差や力量の差がひらいているか接近しているかの違いにもよるでしょう。

山本選手はSnatchが143kg-150kg-158kgの3本、C&Jは175kg-194kg-202kgとこちらも3本とも成功させました。そして、Snatch 158kgが日本新、C&Jの194kgでTotal 352kgとなり日本新。さらに202kgも成功でこれまた日本新と素晴らしい結果でした。彼の試技はC&Jでは1本目と2本目がなんと19kg差という慎重なスタートでした。1本目と3本目の差はSnatchで15kg、C&Jでは実に27kgでした。

この戦い方を他の選手も今後大いに参考にすべきだと思います。まず1本目を安全かつ確実に成功させて2本目、3本目で心に余裕を持って大胆に勝負をかける戦術が功を奏していると思うのですがいかがでしょうか。

まさに 大胆かつ慎重！

谷川 吉史 (S45卒)

世界ジュニア選手権出場

6月16日～6月23日、東京都の大田区総合体育館で世界ジュニア選手権大会が開催されました。早稲田大学からは新川百音選手と木村勇喜選手が日本代表として出場し、以下の成績を収めました。

女子48kg級 新川百音 S 65kg C&J 85kg Total 150kg 11位
男子62kg級 木村勇喜 S 105kg C&J 125kg Total 230kg 16位

事後になりましたが、大会の前にそれぞれ抱負を寄せてもらいましたのでご紹介します。

◆新川百音（スポーツ科学部2年）

去年この試合に早稲田から2人の先輩が出場され、私自身来年はジュニア最後の年なので、絶対に世界ジュニアに出場するんだという気持ちが強くありました。出場が決まった時はとても嬉しかったです。それと同時に、自分が日本代表だという自覚と責任を持たなければならないと思うようになりました。

また、練習に対する姿勢、意識が変わり、自分がどうしたらもっと強くなれるか考えて取り組むようになり、自主練習では自分の弱点を克服できるよう課題の練習を重点的にやりました。

私がこの大会に出場することが出来たのは、多くの方々の支えや応援があったからです。感謝をし、初めての国際大会で緊張してしまうことがあると思いますが、しっかり自分の力を発揮し、6本成功して8位入賞を目指して頑張ります。応援よろしく願いいたします。



◆木村勇喜（スポーツ科学部1年）

このたび、東京都大田区で行われる世界ジュニア選手権大会に出場させていただきます、1年の木村勇喜です。

今大会は自分にとって2度目の国際大会なのですが、前回のアジアユース選手権大会では試合日の変更になるなど国内の大会では起こらないような、初めての経験が多々あり、調整も上手くいかず、4本成功で記録も自己ベストと比較すると大きく下回ってしまいました。

なので、今大会では前回の経験を踏まえて国内の大会とは違う部分や国際大会ならではの出来事などを想定し、6本成功、そして自己新記録を更新し、8位入賞を目指します。

また、来年も年齢的には世界ジュニア選手権大会への出場が可能なので、先のことを見据えて、世界のレベルや自分の今の実力がどこまで通用するのかを勉強したいと思います。

そして、日本開催ということで大学の先輩や同期、また親や友人などたくさんの応援、期待に自分の試技で応えたいと思います。



熱海でミニOB会を開催

5月14日（日）16時、熱海温泉宿みかんの木に10名のOBが集まり、2017年度のミニOB会を開催しました。今回は少しでも宿代を安くという私の貧乏性のせいで日曜日に設定したためか、参加人数はちょっと少なめでしたが、[敬称略]

S42年卒：山内・田口、S43年卒：中田、S45年卒：岡田（正）・林（康）・森（武）・谷川、S46年卒：高橋（明）、S49年卒：鷲田、S51年卒：志田 のメンバーで、18時から始めた宴会は歓談・ご馳走・お酒とともにあっという間の2時間でした。

今回は、今年に入って北海道から東京都内に転居された中田先輩の歓迎も兼ねた会で御年77歳の中田先輩もお元気に参加されリフティングへの情熱を熱く語っておられました。転居されてから2回早稲田でトレーニングもされたとのことで、手帳にその内容をきちんと記録され意欲満々でした。また、このような機会ではいつもそうなのですが、山内先輩が今回は中田先輩の体への施術を入念に行っておられました。（次ページへ）

もう一つ、高橋明さんが5月20日から約3ヶ月間の世界旅行に旅立つことも話題になっていました。大病からすっかり快復し旅行にも元気に出発、また元気に帰国できるよう祈っております。

もちろん現役部員の全日本学生個人戦での活躍ぶりや、5月26日からの全日本選手権大会に総勢20名の部員・OB・OGが出場すること、また今後の現役部員と私たちOBとのかかわり方なども話題となりました。

来年度の三二OB会は、できれば何かの大会の応援を兼ねた日程で計画したいと考えています。

谷川 吉史 (S45卒)

リレー寄稿 あの先輩はいま

60周年記念誌編集に伴い休載していた「リレー寄稿」を再開します。

2月の60周年祝賀会にはるばるマニラから駆けつけていただいた昭和55年卒・荒木宏久先輩に再開の筆を執っていただきました。

早稲田大学ウエイトリフティング部の思い出

今年還暦を迎える歳になり、マニラでの生活も青年海外協力隊の隊員当時から通算35年が過ぎようとしている。現在、首都マニラから車で約1時間、南東に50km下ったラグナ州カラバ市カルーバンの街（30年ほど前に日本でも世間を騒がした、当時の三井物産マニラ支店長・若王子氏が誘拐されたカルーバンゴルフ場が弊社から車で10分）で町工場の親父として、金型の材料の販売と製作の会社を経営している。

早稲田大学教育学部体育学専修出身の学歴とはかけ離れた人生を送っているが、思えば41年前、昭和51年の春、星雲の志を胸に1年先輩の海崎先輩を頼って郷里の天草から早稲田大学の門をくぐり、文学部の裏の三畳一間の下宿部屋から大学生活が始まった。実家からの仕送りだけでは生活費が足りず、奨学金を受けながらバイトとウエイトリフティングの生活に明け暮れた。競技者としての記録は平凡なもので、4年生の時、主将として臨んだインカレⅡ部も優勝を逃してしまった。

ただウエイトリフティング部での生活は毎日が楽しい思い出だった。同期の蒲原や神田・本間と一緒にいった北大、軽井沢、館山、甘泉寮での合宿には名物先輩・後輩が何人もいて、一緒にトレーニングさせていただいたが、有名なのは歌が上手い大久保先輩。北大での「しじみの味噌汁事件」は今思い出しても笑い転げてしまう。我々1年生に替わり自分で給仕された大久保先輩の味噌汁にはしじみが溢れるほど入っていたが、隣の席の町田先輩・蒲原の席の味噌汁にはしじみが1個しか入っていなかった。4年生の軽井沢では、当時1年生・古賀が松葉・井戸を従えて横綱北の湖の雲龍型土俵入りのせり上がりの物まねは、今でも嘖き出してしまふ。厳しく指導して下さった石川先輩は、忘れた頃に心配されて何度かマニラまで電話があった。忘れてならないのが大学に入って早々に膝の靭帯を痛め、一度は早稲田を辞して熊本に戻りもう一度大学受験をやり直そうかと思ったが、長崎出身の小柳先輩が貧乏学生の自分を励ますためトレーニング用のジャージを買ってくださった。逃げて帰れないと思って早稲田での学生生活が続くこととなった。

いま会社経営しながら現地社員と一緒に頑張っているが、ふと日本で普通のサラリーマン生活をやっていたらどうだったかと思うことがある。海外に出たから今があり、毎日が充実した楽しい人生があるのだと思う。そして、大沼監督・加藤監督に指導していただき、多くの先輩・後輩と交わった早稲田大学ウエイトリフティング部の思い出は、自分の人生の宝だと思う。

荒木宏久 (S55卒)



台湾師範大学と交流

1月4日～7日の4日間、部員と岡田監督が台北市へ遠征し、台湾師範大学で合宿を行いました。今回の合宿に参加した千葉健介君が概要と感想をまとめてくれたのでご紹介します。

また、7月24日(火)～29日(土)に台湾師範大学ウエイトリフティング部が来日し、早稲田大学で合宿を行う予定です。

今年1月に行われた台湾合宿は、私にとって人生初の海外渡航となりました。受け入れてくださった台湾師範大学は早稲田大学と学術交流協定を結んでおり、さらに、国際大会を通じて岡田監督と台湾師範大学ウエイトリフティング部監督との間で以前から交流があったことから今回の合宿が実現しました。

本合宿の目的は、競技力向上とともに台湾の歴史や文化を学ぶことにありました。競技力向上の観点からは、台湾師範大学には国際大会で上位入賞した選手も在籍しており、ともに練習をすることで大きな刺激を受けました。

大学を見学した際には、日本統治時代に建設された校舎を見たり、デットリフトの引きのパワーを計測する機械を実際に体験させていただいたり、様々な経験を得ることができました。また、夜には学生に多くの露店が軒を連ねる夜市を案内してもらい、台湾の文化を感じることができました。

今年の夏には私たち早稲田大学が台湾師範大学を迎え入れる側となるので、感謝とおもてなしの気持ちをもって接したいです。

千葉健介(4年・主務)



台湾合宿 集合写真

御年77歳マスターズデビュー

5月3日、横浜市磯子スポーツセンターで開催された神奈川県マスターズ選手権大会に門奈幸雄先輩(S37卒)が出場。M75-85kg級で優勝されました。

御年77歳。この日、卒業以来55年ぶりにシャフトを握ったのだそうですが、C&Jの3回目には50kgの試技に成功。早稲田最年長でのマスターズデビューに華を添えました。

2018年にスペインで開催される世界マスターズ大会出場を目指し、今年8月に新潟県津南町で開催される全日本マスターズ選手権にもエントリーされたそうです。



平成28年度総会報告 1/2

3月19日、早稲田キャンパス11号館 商学部会議室において、平成28年度総会が開催されました。短い時間ではありましたが、各議案について、本会の目的を達成すべく活発な議論が交わされました。遅くなりましたが、以下に要旨をご報告いたします。ご出席いただいた先輩の皆さま、ありがとうございました。

【出席者】※敬称略

中田正剛(S43) 藤田和雄(S44) 岡田正三(S45) 上野 稔(S45) 高橋 明(S46) 志田典明(S51)
数野裕之(S59) 野中弘一(H01) 吉岡史生(H13) 蔵山潤哉(H21) 堀井勇也(H27)

【議事要旨】 ※会計資料は稲門ウェイトリフティングクラブWebサイトをご覧ください。

[議題1] 平成28年度活動報告及び収支決算報告/監査報告に関する件

役員より、平成28年度の活動及び収支決算、並びに監査結果について報告し、満場一致で承認されました。

- *「会費」は、計174万8千円の納入がありました。先輩皆さまのご理解ご協力に感謝いたします。
- *故・林毅先輩(S34)のご家族から5万円のご寄付を賜りました。伊豆でのOB懇親会参加者の皆さまからご寄付を賜りました。
- *リオオリンピック壮行会の余剰金及び60周年記念事業予算執行後の余剰金を収入に計上しました。
- *「インカレ・早慶戦観戦会員補助」は、試合サポート/来場観戦の会員に対し弁当と飲み物を提供させていただきました。早慶戦は60回記念大会で30名参加、インカレは三連休で連日の参加や遠方からの参加を得たことから予算を超えて執行しました。
- *「地域会員懇親会援助費」は、5月に伊豆で開催されたOB懇親会に対し補助を支出しました。いわて国体参加者懇親会は60周年記念誌制作に向けた意見交換会とし「特別積立金(60周年記念事業等)」からの支出に切り替えました。
- *「通信費・消耗品費」は、会費未納の方へのクラブニュース(印刷物)郵送を年1回とさせていただき節約を図っています。また、電子メール配信の参加者は130余名に達しました。経費節減へのご協力、誠にありがとうございます。
- *「会議費」は、4月に4年生との対話会を開催しました。平成29年度体制における対話会は次年度へ持ち越しとします。
- *「慶弔費」は、昭和34年卒・林毅先輩のご逝去に伴い生花をお供えました。
- *「特別積立金(部遠征補助等)」は予算どおり15万円を積み立て、世界ジュニア選手権(ジョージア)・世界大学選手権(メキシコ)派遣選手に対する遠征補助及びアジアユース・ジュニア選手権(東京)代表選手への激励金を支出しました。
- *「特別積立金(60周年記念事業等)」は予算どおり12万円を積み立て、事業計画の実行に当たり全額を予算充当しました。

なお、60周年記念事業の収支実績は以下のとおりです。

(1) 収入合計 1,661,332円

内訳：①特別積立金 1,221,132円 ②祝賀会会費 350,000円 ③祝儀等 90,200円

(2) 支出合計 1,619,576円

内訳：①宴会費 389,029円 ②記念誌制作費 850,680円 ③記念品制作費 160,422円 ④通信費他 219,445円

[議題2] 補助・褒賞・激励の拡大に関する件

早稲田ウェイトリフティングの今後更なる発展に向けて、トップアスリート(部員・OB・OG)に対する激励・褒賞の充実、並びにコーチの国内遠征帯同に伴う経済的負担の軽減を目的として、「特別積立金(部遠征補助等)」の運用を見直すことについて説明し、原案どおり承認されました。趣旨にご賛同いただければ部遠征等助成金(一口5,000円以上1,000円単位)のご協力をお願いします。

- * オリンピック激励：代表選手に対し30,000円 * 世界選手権激励：代表選手に対し10,000円
- * 日本新記録樹立褒賞：年間達成者に対し10,000円
- * 大学新記録・ジュニア日本新記録樹立褒賞：年間達成者に対し5,000円
- * 国内遠征帯同補助：監督要請に基づきコーチに対し交通費実費相当額及び宿泊1泊につき5,000円
(補助対象：インカレⅡ部、全日本学生個人戦、全日本選手権、夏合宿等)

[議題3] 70周年・75周年に向けた対応方針に関する件

創部70周年(H38・2026年)及び75周年(H43・2031年)に向けた対応方針について説明し、原案どおり承認されました。

- * 70周年は60周年と同程度の祝賀会(来賓は絞る、学内会議室を利用)を開催、記念誌は制作しない
 - * 75周年は50周年と同程度の祝賀会(協会・他大学等関係者を招待、リーガロイヤルホテル利用)を開催、記念誌を制作する
 - * 75周年に向けて200万円(会場費100万円+記念誌制作費100万円)を目標に新規積み立てを開始
- なお、創部65年目(H33・2021年)においても早慶定期戦等を契機としてOB・OGが集まる機会を検討していきます。

[議題4] 稲門体育会会員総会の会費補助に関する件

稲門体育会会員総会への参加促進及び体育各部稲門会との連携強化を目的として、総会出席者に対し一人2,000円の会費補助(会費徴収額は例年6,000円～8,000円/人)を行うことについて、原案どおり承認されました。

[議題5] 早稲田アリーナ募金の対応状況について(報告)

当会として寄付金額300万円を目標に取り組んでいる早稲田アリーナ(新記念会堂)募金は、1月17日現在の実績額が108万円となっています。ご協力いただいた皆さまには心より感謝申し上げます。

稲門体育会44部全体では寄付金額2億円の目標に対して実績額7,543万円となっており、応援部を筆頭に競走部や剣道部など計7部が各部分担の目安となる金額をクリアしています。

当会も引き続き目標達成に向けて取り組んでまいりますので、皆さまのお力添えをお願い申し上げます。

(次ページへ)

平成28年度総会報告 2/2

[議題6] 平成29年度活動計画及び収支予算に関する件

役員より、平成29年度の活動計画及び収支予算案について説明し、原案どおり承認されました。

- *「会費」は、181万円を目標に、1人でも多く納入していただけるよう協力の呼びかけを継続して行います。
- *山内英雄先輩(S42)から部遠征等助成金として100万円のご寄付を賜りました。
- *「部への補助」、「新人勧誘費」、「学生MVP賞品代」、「卒業生記念品代」は、これまでと同額の援助を行います。
- *卒業生記念品(木製パーベル)は在庫少数となったため購入時借入金を一括で返済します。
- *インカレ・早慶戦へのOB/OG参加促進のため、今年度も試合サポート/観戦会員に対し弁当・飲料の提供を行います。
- *稲門体育会会員総会(5月早稲田)出席者、ミニOB会(5月熱海)及び国体開催地(10月愛媛)における懇親会参加者に対し会費の補助を行います。
- *「特別積立金(75周年記念事業等)」口座を新たに開設し、初年度は20万円を積み立てます。
- *「特別積立金(部遠征補助等)」は、山内先輩からのご寄付100万円を積み立てた上で、国際競技会代表選手遠征補助、コーチに対する国内遠征帯同補助及び新記録樹立褒賞等に活用していきます。

[その他] 稲門体育会平成29年度スケジュールについて(共有)

稲門体育会の主要なイベントについて開催日程(予定)の共有がありました。

- ①会員総会 5月12日(金) ②ゴルフコンペ 10月11日(水) ③卒業生謝恩会 平成30年3月16日(金)

寄付者ご芳名

このたび部の育成発展並びに当会運営に対し多大なるご支援を賜りました。心から感謝申し上げます。
早稲田アリーナ募金にご支援を賜った皆さまのお名前(敬称略)と併せてご紹介させていただきます。

■ 部遠征等助成金	1,000,000円	山内英雄(S42)
■ 部への補助	100,000円	荒木宏久(S55)
■ 当会運営に対する寄付	30,000円	谷川吉史(S45)
	6,000円	ミニOB会(5月熱海)参加者の皆さま

◆早稲田アリーナ募金 当会団体実績 1,570,000円

林平八郎(S31)	竹林正佳(S33)	法元盛弘(S33)	井田浩史(S34)	古川雍夫(S35)	山内英雄(S42)
内村正月(S44)	村岡芳彦(S44)	上野稔(S45)	榎直樹(S45)	岡田正三(S45)	谷川吉史(S45)
森浩一郎(S45)	森武彦(S45)	高橋明(S46)	秋葉裕一(S46)	藪田雄一(S47)	正木隆至(S48)
志田典明(S51)	石橋義久(S51)	荒木宏久(S55)	石川裕己(S56)	高橋靖夫(S57)	野中弘一(H01)
高橋好古(H12)					

予餞会模様

3月19日、総会に引き続き予餞会が開催されました。卒部生は6名でそれぞれ頑張った4年間を振りかえりながら部に対する思いや今後に向けた決意を語ってくれました。4年間本当にご苦労さまでした。

卒部生氏名 (学部)

武田健	(スポーツ科学部)
春田賢秀	(スポーツ科学部)
藤本雅大	(スポーツ科学部)
高橋まどか	(人間科学部)
野本なつみ	(スポーツ科学部)
細貝優希	(スポーツ科学部)

